

平成 29 年 9 月 4 日

株式会社清水銀行

「FinTech を活用した地方創生」への取り組み

～FinTech ベンチャー企業と提携した清水銀行と静岡市が

オンラインを通じて地域活性化に向けた中小企業支援を展開していく～

株式会社清水銀行（本社：静岡県静岡市／頭取：豊島 勝一郎、以下「清水銀行」）と静岡市は、平成 27 年 7 月より「地方創生の推進に向けた連携に関する協定書」を締結しており、今回セミナーの共同開催や E C サイトの活用等を通じて地域活性化への取り組みを加速させていきます。

■ 静岡市との主な取り組み

1. 共同セミナーの開催

セミナー	「ネットショップ成功への道標」の開催
日時	平成29年9月13日（水）18時30分～
会場	静岡市産学交流センター「B-nest（ビネスト）：ペガサート」
定員	50名
対象	中小企業経営者、従事者、ECに関心がある方、創業を検討している方
主催	当行、BASE、静岡市共催
申込	清水銀行経営企画部メールアドレス/smz@mars.dti.ne.jp

※セミナー申込期日は 9 月 7 日（木） 定員になり次第、締め切りさせていただきます。

2. FinTech を活用し、E C サイトの立ち上げや運営等を通じた中小企業支援

- ・ FinTech ベンチャー企業で E コマースプラットフォームを提供する B A S E 株式会社と清水銀行、静岡市が連携し、E C サイトの立ち上げや運営を通じた中小企業支援を行っていきます。

「BASE（ベース）」は自ら企画・製造した商品や自社ブランドを扱う生産者およびメーカーが、無料で簡単にネットショップを立ち上げ、自分たちが作ったモノの価値をインターネットで広めていくことができるサービスです。ショッピングアプリ「BASE」は 300 万以上のユーザーが利用しており、日々新たな人気ショップが誕生しています。

40 万店舗が出店するショッピングアプリ「BASE」（アプリダウンロード数 300 万件超：平成 29 年 8 月 31 日現在）を運営する BASE の E コマース（電子商取引）を活用し、清水銀行と静岡市が協力して地域の潜在的な可能性と IT テクノロジーによる情報発信を行い、「FinTech を活用した地方創生」を実践していきます。



NEWS RELEASE

THE SHIMIZU BANK,LTD.

清水銀行は、第26次中期経営計画「ADVANCE AS ONE」において、マーケットインの思想を更に推し進め、顧客一人ひとりが望む商品・サービスに応じて提供をしていく「カスタマーイン戦略」を掲げています。顧客との対話を通じて顧客満足を追求するマーケティング（カスタマーイン）がインターネットを中心とした時代の主流となりました。

地方創生への取り組みについては、「不易流行」の言葉にあるように、守るべきところは守り、変化させていくべきところは変化させ、清水銀行が先頭に立ち、時代の新しさを追求していきます。またお客さまから「ファーストコール」をいただける最も身近で、親しみやすい銀行になるべく、積極的に取り組んでいきます。

これからも「地銀」らしく、もっと寄り添い、もっと頼られる銀行を目指し、この静岡の地で「存在意義の発揮」をしていきます。

<企業概要>



清水銀行

社名	: 株式会社清水銀行
代表者	: 取締役頭取 豊島 勝一郎
所在地	: 静岡県静岡市清水区富士見町2番1号
主な事業内容	: 金融業
URL	: https://www.shimizubank.co.jp/

<本件に関するお問い合わせ先>
株式会社清水銀行 経営企画部：伊藤 TEL：054-353-7895
静岡市 産業政策課：杉山 TEL：054-354-2313



清水銀行